

感染症が引き起こす主な病気
内科系から外科系まで、身近な感染症の種類はさまざま。
医療の専門分野が異なるため、病気を包括的に管理する
「感染症内科」の存在が非常に重要となる。

通常、発熱した場合に患者を最初に診察する事が多いのが地域の内科だ。その後など外科領域のもの、内科領域だけでなく、がんの治療など外因性のものもある。

「特に高齢の方は、発熱したら受診してください」と矢野先生は言う。下の図は、1年間の外来受診の割合を示したもの。1000人のうち病院を外来受診するのは1年間で307名、その中で入院する人は7.2名となっている。

医療法人 雙立会
碩心館病院 (せきしんかんびょういん)

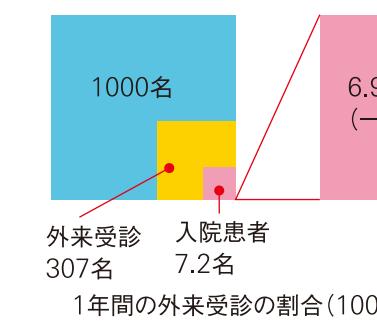
小松島市江田町字大江田44-1 ➡ 37ページ

☎ 0885-32-3555 ☎ 40台

http://www.sekishinkan.or.jp/

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
14:00~17:30	○	○	○	○	○	○	×

*祝日は休診



あらゆる感染症を横断的に監視

もう少し詳しく、感染症の内容を見てみよう。左の図のように呼吸器系や泌尿器系、心血管系、皮膚軟部組織系、中枢神経系など、感染症の種類もさまざま。

続いている「がん」も、感染症とは深い関係にあります。放射線による治療や、抗がん剤の副作用などによって白血球などが減り、免疫力が落ちてしまうこともあります。

さらに注目したいのが、受診する診療科が感染部位によって異なる事がある点。日本では、感染症の治療は各診療科ごとにバラバラで、統一されたものが少ない状況となり得ます。

総合内科専門医と密接な関係

病気を引き起こす

さまざまな病原体が

感染症

Topics

発熱や咳、腹痛を放置すると重症化へつながることも

細菌やウイルス、真菌など、さまざまな病原体によって引き起こされる病気のこと。



碩心館病院
徳島大学感染制御部特任助教
徳島赤十字病院非常勤医
矢野 勇大先生。
豊富な感染症の知識をもとに、あらゆる病気の治療や管理、専門医の紹介などを担当してくれる。

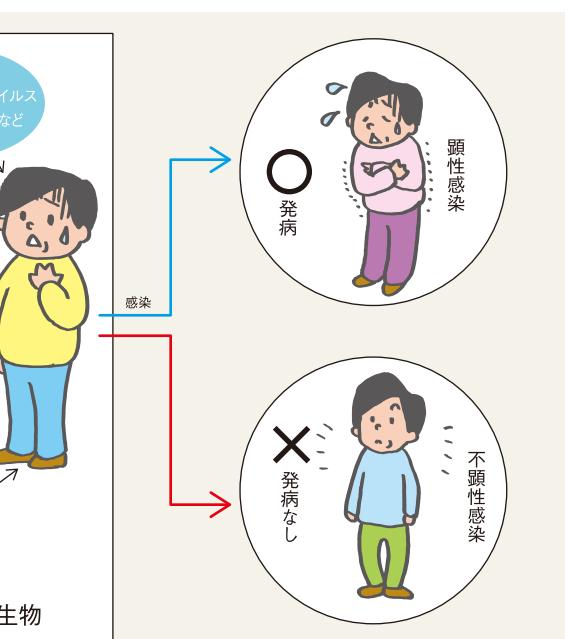
昨年、感染症の一つであるエボラやデング熱が話題になつたことは記憶に新しい。日本人には馴染みの薄い病気だが、私たちの身の回りには、もっと身近で切実な感染症が数多く存在することを、存じだらうか。

そもそも感染症とは、細菌やウイルス、真菌など、さまざまな病原体によって引き起こされる病気のこと。

唾液などを通し、知らないうちに感染源となってしまいうケースも多い。

鼻や喉など上気道の粘膜に病原体が感染して起る風邪は最も身近な感染症の一つ。ほかにも、インフルエンザやノロウイルスをはじめ、細菌、カビ、原虫を病原体とした感染症など、種類も実にさまざまだ。

高齢社会に忍び寄る感染症のリスク



厚生労働省の平成23年人口動態調査では、日本人の死因の第3位に肺炎が入った。その原因を矢野先生は次のように話す。

「この結果は、加速度を増す高齢化にも大きく関係していると思われます。高齢になると免疫力が落ちるため、肺炎や尿路感染症などに掛かりやすくなるのです。今後も感染症で亡くなる方は増えしていくことが予想されます」

今回、死因のトップ3に入った肺炎は、呼吸器感染症の一つ。肺炎で死亡する人のほとんどが75歳以上であり、高齢化が進む徳島においても感染症への予防が重要な治療を行なうことが不可欠です。より専門的な治療が必要だと判断した場合には、それに応じた専門医を紹介する。それが総合内科専門医としての役割だと思っています」

地域の人たちの受け皿となるべき存在になること。そういう意味でも、総合内科専門医と感染症は密接な関係にあると言える。

「人間の体は菌だからですから、何らかの病気が原因で感染症を引き起こします。たとえば脳梗塞によると、寝たきりの方は、床ずれから感染症を引き起こすこともあります」

「これが感染症予防、そして適切な治療の第一歩となることは間違いない。まずは、何でも相談できるかかりつけ医を見つけることです。それが感染症予防、そして適切な治療の第一歩となることが分かる」